



巻頭 photo

高尾山の生きものたち

オニヤンマ (オニヤンマ科)

体長95~100mmの我が国最大のトンボで、ある夏に小下沢の林道で、私の前を行ったり来たりしている個体の飛翔スタイルを撮りたいと粘って撮ったのが、この作品です。

裏高尾には「ムカシトンボ」といわれる原始的なトンボも生息しておりますが、「最近ではその貴重なトンボを採集する人間がいる」と、トンボ撮影者が嘆いていました。何らかの手を打たないと、この貴重種も消え去るのではと心底心配です。



今月の一句

「オニヤンマ 行ったり来たり 夏の午後」

(フォレストサポートスタッフ 大作栄一郎)

かや
~榧~ (イチイ科)

二美ちゃん 富ちゃん 皿ちゃんの



今回からこの欄の担当になりました。木皿です、よろしくお願いします。

私は国産材について紹介させていただきます。

藤井4段でブームとなっている将棋の将棋盤や碁盤の材料として利用される「榧(カヤ)」について紹介します。

榧は関東以南に分布するイチイ科の針葉樹で高尾山にも多く見られます。

名前の由来は、燃やすとその煙が蚊を追いやる性質がある事から「カヤ」の名がついたと言われていいます。

榧は生長が遅く、高級な碁盤の取れる直径1.1mほどの成木となるには300年以上かかるとも言われており、国内で伐採できる榧の原木はほぼ皆無です。

私が榧の丸太を初めて見たのは、宮崎県綾町の木材市場でした。端材(はざい)のような短く太い榧の原木に百数十万円の値が付くのには驚きました。碁盤に加工された榧の美しさには、碁を指さない私ですえ魅了されるほどです。

碁盤の素材としての榧は、材質の美しさ・指し味

・打音・香りと、全てにおいて榧に勝るものはありません。緻密な木目が美しく、淡黄色の色合いは使い込むほどに味わい深い飴色へと変化し、油分が多く、何十年経っても色ツヤが失われれないと言われており、特に日向産と奈良春日山産が有名です(皿)



森林教室

～横浜市立羽沢小学校～

高尾山の自然に興味津々！

6月4日（日）、初めて横浜市立羽沢小学校5年生88人が森林教室にやってきました。前日（3日）に、自分を律し友達と力を合わせて山頂まで登り切った達成感と登山のすばらしさを感じた子どもたちは、高尾山頂登山の疲れも見せず元気いっぱいで大平国有林内の森林ふれあい館にやってきました。そしてバスから降りた子どもたちは建物の木の香りに驚いていました。

森林教室は、森林学習&丸太切り体験と森林観察に大きく2つの班に分かれました。森林学習ではアニメを使った地球温暖化等の話や森林の働き等を学習し、丸太切り体験では切る人と丸太をずれないように押さえる人とで協力し合い、全員2～3枚切ることができました。切った後は木の皮や木くず等後片付けも行いました。

森林散策では、ふれあい館周辺の学習の歩道や大平林道をたどる自然観察です。前日登った登山道とは違った森林の中、子どもたちは初夏の高尾山の自然に興味津々、好奇心いっぱいでした。丸1日を使った充実した森林教室が終わる頃には、心地よい疲労感に包まれ、丸太の輪切りと思い出をお土産にみんな元気に帰校しました。

最後に、先生から「来年も森林教室をお願いします」と言われ嬉しい限りです……。 (屋)

森林教室

～八王子市立みなみ野小学校～

雨が降らなくてよかった！

6月9日（金）、八王子市立みなみ野小学校5年生122名の子どもたちが、梅雨入り宣言が出された以降初めての森林教室に訪れました。梅雨時期といえば天候が気がかりとなりますが、日頃の行いがよい子どもたちなのか、曇りがちなながらも雨に降られず森林教室を体験しました。また、今回訪れた子どもたちは2年前に出前森林教室で一度顔を合わせたことがあり、当時の話なども話題にしながら楽しむことができました。

森林散策では、案内する職員の解説を聞きながら森林の仕組みや成長などについて勉強し、植物の名前の由来や気になる植物の名前を質問しながら約2時間の散策を楽しみました。途中、水たまりにはオタマジャクシの姿を見つけたり、蜂トラップに入ったオオスズメバチを間近に見て歓声を上げたりと、普段経験のできない情景に一喜一憂していました。

一方、森林の働きなどの座学は真剣に聞き入り、職員も冷や汗ものの質問も多数飛びだし、一生懸命メモにとっていました。丸太切りでは、厚く切ったり薄く切ったり思い思いに切り落とし、中には5枚も切り落とす子どももいました。

閉校式では、体験した感想が各クラスの代表者から発表され、森林環境教育の大切さを職員一同考えさせられました。一日の疲れも見せずに元気いっぱいの笑顔を残し、みなみ野小学校へ帰校していきました。(関)



森林教室

～東村山市化成小学校～

心機一転、楽しめたよ！

6月15日（木）、東村山市立化成小学校5年生92名が、体験学習のため初めて森林ふれあい館を訪れました。バスを降りる児童達は2時間かけての到着となりやや疲れ気味でしたが、記念撮影が終わる頃には元気な声が聞こえるようになり、にぎやかな雰囲気の中開校式が始まりました。開校式では、これまで他の学校では目にすることがなかった児童たち手作りの大きな旗が持ち込まれ、旗に書かれた「高尾で心機一転 みんなをおもい 楽しもう」との学習目的を児童全員が大きな声で読み上げ体験学習がスタートしました。

当日は、森林のはたらき等についての学習や丸太切り、森林観察をグループ毎に体験し、森林観察の中では「この花きれい」「思っていたより山って楽しいね」と言った声が聞かれるなど普段できない体験を楽しんでいる様子でした。また、閉校式では「森林観察がとても楽しかった」「丸太切りは大変だったけど楽しかった」「森林の働きや知らない植物の名前などを知ることができてうれしかった。もっと勉強したい」等、次々と手を挙げ楽しげに感想を述べる児童の姿に、スタッフにとっても満足な1日となりました。

若干遅れてのスタートとなった体験学習も、生徒たちのきびきびした行動で予定した時間どおりに終了し、帰途につく児童たちは、見送る職員とフォレストサポートスタッフにいつまでも手を振りながら、ふれあい館を後にしました。（谷）



クラフト体験

ご利用ありがとうございました！

- 4月27日 八王子市立松木中学校（22名）
- 5月16日 東村山市わくわく保育園（22名）
- 5月25日 目黒区育英幼稚園（45名）
- 6月2日 町田市立南大谷小学校（34名）
- 6月17日 ちゃいころ児童デイサービス府中（10名）
- 6月18日 品川区文化観光課（21名）
- 6月23日 八王子市立秋葉台小学校（30名）
- 6月29日 多摩市バオバブ小さな家保育園（15名）



8月11日は国民の祝日「山の日」です。

～山の日記念～

「子ども樹木博士と丸太切り」

一般公募イベント

1. 開催日時:平成29年8月19日(土) 10:00~15:00
2. 開催場所:八王子市 高尾山国有林 日影沢キャンプ場
(JR中央線・京王高尾線の高尾駅北口から、京王帝都バス「小仏」行きに乗車し「日影」バス停で下車。案内係の職員と徒歩で約10分)
3. 内 容:樹木博士と丸太切りを体験します。(内容については変更する場合があります)
4. 募集人員:小学生以上20名(小学生は保護者同伴)※応募者多数の場合は抽選
5. 応募締切:平成29年7月28日(金) 必着
6. 申込方法:往復はがきの往信面に、イベント名、参加者全員の①郵便番号②住所③氏名(必ずふりがなを入れてください)④年齢⑤確実に連絡のつく電話番号、返信面にお申込者の宛名をご記入の上、下記までご応募ください。
〒193-0844八王子市高尾町2438-1
高尾森林ふれあい推進センター「山の日記念 子ども樹木博士と丸太切り」係
7. 参加費(保険料):一人当たり100円を予定
8. 持ち物、服装:筆記用具(下敷き含む)・弁当・飲物・タオル・雨具等。作業可能な服装(帽子・長袖・長ズボン・軍手・トレッキングシューズ等)をお願いします。
9. その他:小雨決行(荒天中止)中止の場合は8月18日(金)17:00までに連絡をいたします。キャンプ場は携帯電話が圏外で使えません。
10. 問合せ:林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター
(土日祝日を除く開庁日の8:30~17:15)
〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1
電話:050-3160-6040
FAX:042-663-7229
ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/>

編集後記

梅雨もそろそろ終わる頃となり、セミが騒がしく鳴き出した。もう暫くすると学校は夏休み。夏休み中は当センターの森林教室も小休止となる。しかし7・8月には公募イベントが控えているので、ほっとするのもつかの間。9月以降は一年で最も忙しい季節が訪れる。当センター勤務となり2年目を過ごしているが、なんと時間の経過の速いことか!しかし、林野庁や森林を知って頂けるための仕事に携わっていただけることはとても幸福を感じます。本当に!(磯)

Forest 通信 No.341

発行:林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター
【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】
林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター
〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1
電話 050-3160-6040 FAX042-663-7229
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>